

## 第126回 記者懇談会実施概要

- 1 日時 2019年1月30日(水) 15:00～16:45
- 2 場所 関西大学梅田キャンパス 7階 701教室
- 3 内容

### (1) 研究発表・質疑応答 (15:00～15:30)

- ・小山 倫史 社会安全学部准教授
- ・近藤 誠司 社会安全学部准教授

共同発表テーマ「山間地“限界集落”で、ハイブリッド防災にチャレンジ

— 文理融合プロジェクトによる新機軸 —

### (2) 学内状況説明 (15:30～16:30)

- ① 2019年度入学試験志願者状況について 資料1
- ② 関大 VC 第1号は現役大学院生！高精度な屋内位置情報測位システムを開発 資料2
- ③ 梅田キャンパス開設2年のスタートアップ支援事業の実績について 資料3
- ④ 「安全・安心」を追究する社会安全学部10年の歩みとこれから 資料4
- ⑤ 学生が作成した「本の帯&書評」が、大阪・梅田の大型書店に並ぶ！ 資料5
- ⑥ 大阪府大・市大とのAP合同フォーラム「今、あらためて学修成果とは何かを問う」を開催 資料6
- ⑦ KU-ORCAS研究会「近代東アジアにおける西洋料理の伝播と受容」を開催 資料7
- ⑧ 社会人学び直し大学院教育プログラム(2019年度)について 資料8
- ⑨ 外国人留学生在が関大幼稚園児と「節分の豆まき」を通じて交流 資料9

### **NEW** (3) 学長による話題提供「芝井の目」～ 最近の大学情勢についてのあれこれ～ (16:30～16:35)

テーマ：関大SDGs推進プロジェクト

### (4) 意見交換・質疑応答 (16:35～16:45)

学長はじめ執行部に対し、テーマを問わずその他自由にご意見・ご質問ください。

### 4 大学側出席者

芝井敬司学長、良永康平副学長、高作正博学長補佐、小山倫史社会安全学部准教授、近藤誠司社会安全学部准教授、北原聡入試センター所長、大塚進入試広報グループ長、北之馬貴正(理工学研究科博士課程後期課程)、飛田恭兵氏(株式会社NEXERA代表取締役社長)、中島匠一氏(株式会社ブランド高知代表取締役社長)、服部真人梅田キャンパス事務長、財前英司梅田キャンパス事務長補佐、立仙和彦総合企画室次長、富山浩嗣学長室次長、植田光雄学長課長、依藤康正広報課長 他

### 5 参考資料

- (1) 『社会安全学入門—理論・政策・実践—』/ 編：関西大学社会安全学部 (ミネルヴァ書房、2018.4)
- (2) 関西大学ニューズレター「Reed」第55号
- (3) 関西大学通信 第472号 (4) 関大生の活躍 (5) 行事予定表 (2月～3月)

以上

### 【次回(第127回)記者懇談会開催予定】

日時：2019年3月29日(金) 場所：梅田キャンパス4階 KANDAI Me RISE ラボ(多目的室)  
備考：当日に説明・情報提供を希望する事項がございましたら事前にお知らせください。

TEL：06-6368-0201 E-Mail：kouhou@ml.kandai.jp

# 山間地“限界集落”で、ハイブリッド防災にチャレンジ — 文理融合プロジェクトによる新機軸 —

社会安全学部准教授 近藤誠司・小山倫史

## 【概要】 みんなで育てる防災！

わずか40世帯。福井市街地から車で1時間ほどの山奥に、文理融合のハイブリッド・プロジェクトを起こした研究フィールドがあります。実質的な高齢化率が8割ほどになるとおぼしき高須集落、「地滑り地形」の只中に立地する斜面災害のハイリスクゾーン。

こうした場所で、いきなり「防災、頑張りましょう！」と掛け声をかけても、事はうまく運ぶはずがない。そこで、おじいちゃんやおばあちゃんと膝を突き合わせながら、のんびりと、しかし巧みな「ソフト防災」を展開し始めています。敢えて泥くさ〜い「簡易計測機器」（OSVと言います、発表内でご説明します）を設置して、お年寄り自ら斜面の監視を日常におこないます。限界集落の数が、今や1万を超えるとされる日本列島。ふるさとを想う気持ちをテコにした新機軸の防災トライアルをご紹介します。



## 【社会安全学部・准教授 近藤誠司 プロフィール】

1994年、京都大学法学部卒業。1994年から2014年まで、NHKで報道部ディレクターとして従事。NHKスペシャル『MEGAQUAKE』で、科学技術映像祭・内閣総理大臣賞受賞。2013年、京都大学大学院情報学研究科で博士（情報学）取得。現在、人と防災未来センター・リサーチフェロー兼務。著書に『ワードマップ 防災・減災の人間科学 いのちを支える・現場に寄り添う』（新曜社）、『現場で作る減災学 共同実践の五つのフロンティア』（新曜社）など。2017年度：防災まちづくり大賞・消防庁長官賞、2018年度：学生福島賞・復興大臣表彰、ぼうさい甲子園・ぼうさい大賞（大学部門トップ）など、受賞多数。

## 【社会安全学部・准教授 小山倫史 プロフィール】

1999年、京都大学工学部土木工学科卒業。2001年、京都大学工学研究科土木システム工学専攻博士前期課程修了、2007年、スウェーデン王立工科大学資源・水資源工学科博士課程修了、Ph.D、2008年から2014年まで、京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻、助教、2014年より関西大学社会安全学部、准教授。専門は、地盤・岩盤工学、地盤防災。豪雨時の斜面崩壊および土砂災害警戒に関する情報の高度化、高レベル放射性廃棄物の地層処分、老朽化インフラの維持管理などの研究テーマに取り組む。国土交通省近畿地方整備局道路防災ドクター、トンネルアドバイザー、原子力発電環境整備機構(NUMO)、技術アドバイザー委員会委員などを務める。